

公表

事業所における自己評価総括表  
(放課後等デイサービス)

(別紙3)

○事業所名	千歳市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 17日		～ 令和 7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの様子を深くとらえ、こどもの願いやニーズの理解に努め、その課題や特性に応じた専門性のある支援を行っている。	・日々の支援の中で行動観察や児童に負担のかからないように遊びの中で評価をし、育ちにあった支援を設定しています。	・支援の場での様子だけでなく、ご家庭の様子、学校や他事業所での様子もうかがい、そこでの困り感に合わせた支援を行っていきます。
2	・部屋や廊下は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	・ハイハイで移動される児童や、車いす・歩行器で移動される児童もいるため、床掃除・消毒を徹底しています。	・支援ごとの床掃除・消毒を継続していきます。また、補装具などのふき取りに使用するアルコールシートを設置し、親子が安心して支援で楽しく利用いただける清潔な環境を整えていきます。
3	・日々の支援で行う活動プログラムが固定化しないように工夫している。	・その時の児童の興味関心に合わせて、支援内容を調整したり、同じ活動やおもちゃや素材であっても意図的に関わり方を変更するなどして工夫しています。	・運動面での課題での支援が中心となるため、引き出すべき運動のプログラムは継続が必要ではありますが、その時の児童の興味関心、体調に合わせて活動内容を調整して支援を行えるように設定していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	・センターでは、6月に火災と地震を想定した避難訓練を実施していますが、学齢児や医ケア児の想定は不十分であったと思われます。	・児童によって移動方法が様々であるため、その子ごとに安全な避難方法、避難時に必要な物品等を確認・検討していきます。
2	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知説明している。また、発生を想定した訓練を実施している。	・センターでは、5月に食物アレルギー対応訓練、6月に嘔吐処理対応訓練を実施していますが、十分な周知には至っていないと考えています。	・実施状況についてはおたよりやブログなどで発信をしていますが、訓練の年間報告を行うなど、より広く知っていただくための工夫を考えていきます。
3	・保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング等)や研修会、情報提供等を行っている。 ・保護者同士の交流の機会を設けるなど家族への支援がされている。	・メールでのご案内を中心に行っていますが、学齢児の保護者様の参加は少なく、十分な周知に至っていないと思われれます。	・保護者様にその時に必要な情報が届きやすいように様々な周知方法を検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果  
(放課後等デイサービス)

事業所名 千歳市児童発達支援センター

公表日 令和 8年 3月 16日

利用児童数 令和7年11月30日時点 9名

回収数

6名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分確保している。	6	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である。(当センターでは、定員に見合った職員の人数以上の職員が従事しています。)	6	0	0	0		
	3 子どもにわかりやすく部屋の表示をしたり、家具の配置など環境配慮をしている。また、設備等のバリアフリー化や情報伝達等について適切に配慮している。	6	0	0	0		
	4 部屋や廊下は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	6	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	6	0	0	0	好きな事をたくさんおぼしてくれる	お子さんの興味・関心を保護者の方にもお聞きしながら、支援に取り入れていきたいと思っています。
	6 公表されている支援プログラムと、実際に提供する支援内容は合っている。	6	0	0	0		
	7 個別支援計画は、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で作成している。	6	0	0	0		
	8 個別支援計画は、子どもの支援に必要な項目「本人支援(あそび、言語面、対人面)」や「家族支援」、「移行支援」などの支援項目を適切に設定し、その上で具体的な支援内容を設定している。	6	0	0	0		
	9 個別支援計画に沿った内容で支援を行っている。	6	0	0	0		
	10 日々の支援で行う活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6	0	0	0		
	11 認定子ども園等(または学童クラブ等)との交流や、地域の他のお子さんと活動する機会がある。	3	1	1	1		
保護者 への 説明 等	12 運営規程や支援プログラム、利用者負担額等について丁寧に説明を受けた。(センターでは契約時説明を実施しています)	6	0	0	0		
	13 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を受けた。	6	0	0	0		
	14 保護者に対して家族支援(ペアレント・トレーニング等)や研修会、情報提供等を行っている。	5	0	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている。	6	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	6	0	0	0		
	17 職員からは共感的に支援が行われている。	6	0	0	0		
	18 保護者同士の交流の機会を設けるなど家族への支援がされている。(センターでは「保護者交流の場」を開催しています。今年度は6月と12月に実施、次回は2月開催予定です)	6	0	0	0		
	19 子どもや保護者からの相談や申入れに対応する体制が整備されており、子どもや保護者に周知、説明している。また、相談や申入れをした際に適切に対応している。	6	0	0	0		
20 子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達について配慮している。	6	0	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者等への	21	活動の概要や行事の予定、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して定期的に発信している。(日々の活動の様子はお便りやブログで発信しています。また、自己評価結果はホームページに公表しています)	6	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分注意している。	5	1	0	0		
非常時等の対応	23	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知説明している。また、発生を想定した訓練を実施している。(センターでは、5月に食物アレルギー対応訓練、6月に嘔吐処理対応訓練を実施しています)	6	0	0	0		
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。(センターでは、6月に火災と地震を想定した避難訓練を実施しています)	6	0	0	0		
	25	子どもの安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。	6	0	0	0		
	26	事故や怪我等が発生した際に、事故発生時の状況等について速やかに説明している。	6	0	0	0		
満足度	27	子どもが安心感をもって通所している。	6	0	0	0		
	28	子どもが通所を楽しみにしている。	6	0	0	0	・毎回楽しみに通っています	・これからも通所を楽しみにして支援を受けてもらえるように努めてまいります。
	29	千歳市児童発達支援センターの支援に満足している。	6	0	0	0	・いつも工夫いっぱい愛情たっぷりの療育を提供して下さい。大変満足しております！限られた時間の中で、子供の特性をよく見てくれていて、子供に合った楽しい支援を毎回用意して下さい、沢山のヒントを貰っています！良い先生に出会えて、千歳市に転居してきてとても良かったと思っています。 ・先生方にはいつも感謝しています。	・これからも信頼関係を深めながら、お子様の成長に寄り添っていけるよう努めてまいります。

事業所名 千歳市児童発達支援センター

公表日 令和 8年 3月 16日

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	0		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	0		・移乗介助を考えると、現場のPTが2人居てもいいのではないか。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	0	・ハイハイで移動するお子さんもいらつしやるので、毎日床掃除・消毒を徹底している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	0		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	0	・行動観察の他、発達検査等の評価ツールを使用し、アセスメントしたものを支援に活かしている。	・児発で行っているK式は行っておらず、手帳判定時の値の共有はされるが、フォーマルアセスメントは一部分。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	0		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	0	・個別支援計画会議を開き、職員間で意見を出し合いながら作成している。	
20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	0			

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2	1	0		・基本的には4つの基本活動を入れて実施を心がけているが、運動面の課題で個別支援を実施しているため、活動が限定されることがある。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	3	0	0		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	0		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	0		・該当する子どもがいなかった ・現在対象児童がないため実施していない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	3	0		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	0		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	0		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	0		・きょうだいに関しては無し
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	0		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者等への説明	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	0		・様々な緊急対応の訓練はしているが、学童児のバギー・医ケア児などの想定はしていない。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	0		・様々な緊急対応の訓練はしているが、学童児のバギー・医ケア児などの想定はしていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1	1		・食事に關する支援は行っていない ・食べる支援を実施していないため対応はないが確認は行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	0			